



## ターミナルケアについて

ターミナルケア（終末期医療）とは、様々な病気、老化・老衰により、死期が近づいた動物に対し苦痛を取り除き安らかな生活が送れるように、医療・看護を行うことです。延命ではなく、QOL（生活の質）の維持・向上に重点がおかれています。



根治治療	積極的な治療、病気の根絶が目的	QOLの若干の低下も許容とする
緩和治療	病気の症状・進行をできる限りコントロール	QOLの維持・向上が目的
末期治療	病気に対する手段がない（治療が難しい）	QOLの向上のみが目的



### ① 食事の管理

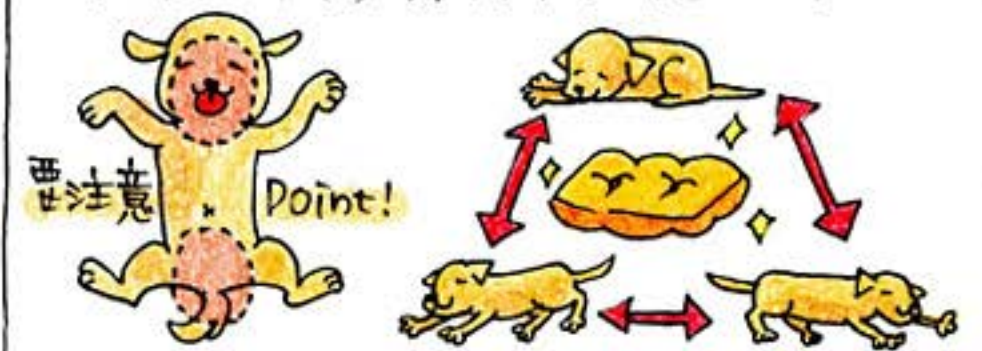
飲水欲・食欲がなくとも、嘔吐または吐き気、よだれがなく食み込むことが可能な動物には回数分けて少量から強制給餌を行います。



ドライフードにお湯を足し、温かく、柔らかくして食べやすくしたり、ペースト状の食事（フードをすり潰したものや缶詰に水を足したもの）をシリンジやスポイトに入れ口に直接流し込み、食事の介助をします。

### ② 感染の管理

病気や老化により免疫能力が低下した動物は、普通の生活をしていても細菌感染が起こりやすくなっています。また、寝たきりや、自由に体を動かさない場合は褥瘡（しよくそう）=床ずれにも注意が必要です。



よだれや目やに、食事、排泄で汚れやすい箇所まわり、口元、おしりや陰部まわりなどは毛を短くカットしたり部分シャンプーなどで不衛生にならないように。また敷物を軟性素材にしたり、寝る体位を右下・左下・うつ伏せ...と変え、床ずれを予防しましょう。

### ③ 運動機能障害の管理

最もよくみられるのが歩行・起立障害です。猫や小型～中型犬であれば動かなくなっても人が抱えることが可能ですが、大型犬の場合は深刻で器具などを用いて歩行の補助をする必要があります。



ペット雑誌などで色々な補助器具の販売や車椅子の紹介がされています。また丈夫な布やタオルでも十分代用が可能なので、体型・障害などに合わせてベストなものを選んであげましょう。

### 大切な家族のために

今や動物たちはただのペットではなく家族の一員。ターミナルケアは苦痛を取り除くための看護で、苦しみを延ばす行為ではありません。どこかが痛いのか？ 苦しいのか？ 気持ち悪いのか？ 動物たちの状況を正しく把握し、ご家族・病院スタッフが一糸者に病気や老化と向き合い、よりよい看護・介護方法を見つけましょう。

パティしんぶん! No.5~27を担当しました白石です。パティの仲間になり6年目、たくさん事を学び、このしんぶんと共に成長することができました。白石は9月でパティをはなれますが、これからもパティしんぶん! が飼主様と動物たちの手助けになるように頑張っております。本当にありがとうございました!

